

# 千葉県バスケットボール協会指導者養成委員会 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止ガイドライン

第1版(2020年12月08日作成)

## 【はじめに】

- 新型コロナウイルス感染症への感染、および感染拡大を最大限防ぎながら、本協会指導者養成委員会主管事業を再開いたします。参加者するにあたり、受講者は本資料について全て目を通して、同意をした上で研修会・講習会に参加してください。
- 本資料は、JBA（日本バスケットボール協会）の「主催講習会に関する新型コロナウイルス感染症対策について」に基づいて作成しています。
- なお、本資料は感染状況に応じて改変される可能性があります。

## 【本ガイドラインの適用事業】

令和2年度 公認コーチリフレッシュ研修会

令和2年度 C級公認コーチ養成講習会

## 1 講習会参加に関する感染リスクと感染症対策に関する同意のお願い

- いかなる対策を講じた場合でも、講習会参加に伴う新型コロナウイルスの感染リスクを完全に失くすことはできません。そのため、受講者におかれましては、以下に記載されている感染症対策の内容を必ずお読みいただき、それらの内容を遵守し、同意いただける場合は別紙の誓約書にサインした上で、受講をお願いいたします。
- 講習会を受講する方は、ライセンスを取得するために講習内容をすべて受講いただきます。講習会においては、座学講習と実技、コーチング実践を通して、ライセンスを取得するに値するとみなされます。したがって、講習会参加を決定する際には、以下の講習内容をよくお読みになり、感染リスクを承知した上で、全てのプログラムを受講していただくようお願いいたします。
- PBA(千葉県バスケットボール協会)に報告・提出する体温、行動記録などについては、一切の虚偽が無いことを誓いの上、提出してください。
- なお、講習会への参加は受講者の自由意志です。感染リスクや、感染症対策等の内容に同意できない場合につきましては、特別措置対象者として、2021年度に講習会を受講していただくことが可能です。(申し込み・受講料支払いを終了された方)

## 2 講習会実施における基本方針

### ① 安全最優先

千葉県バスケットボール協会は受講者の生命・健康の安全を最優先とします。そのため、講習会開催中に新型コロナウイルス感染症の発症が発覚した場合などの緊急時には、講習会を中止する可能性があります。(講習会途中で中止になった場合には、来年度の講習会において優先的に受講することが可能となります)

### ② 不当な扱いや差別などの禁止

千葉県バスケットボール協会は感染状況に起因する一切の差別や誹謗・中傷を許容しません。また、上記に記載したように、講習会を中止する場合があります。その際、観戦者の特定やインターネット・SNSを通じた感染者の情報の公開、感染の疑いのある方への差別的言動などについて、一切を禁じます。インテグリティにも関わる内容であるため、上記行為が発覚した場合は、当該受講者の対応(JBAの裁定委員会への報告など)について検討いたします。

## 3 感染症対策

講習会・研修会の〈実施前〉〈実施中〉〈実施後〉において、それぞれ感染症対策を講じます。主な対策は以下の通りです。

〈実施前〉参加予定者の体調管理(体温の検温など)を2週間前から実施

参加予定者の行動管理を2週間前から実施

陽性者との濃厚接触を確認アプリ(COCOA)で2週間前から実施

〈実施中〉参加予定者の体調管理(体温の検温)行動管理を実施

可能な限りの身体的距離の確保

「3密」を極力避けるための講習環境・形態づくり

マスクの着用、うがい、手洗いの励行、消毒の徹底

〈実施後〉参加者の体調のフォローアップを実施

体温・行動記録用紙の3か月保管

以下では、主催者(千葉県バスケットボール協会)と受講者が実施すべき感染症対策を具体的に記してあります。以下のすべての対策を遵守してください。

## ① 事前の対策 ～参加意思の確認・参加条件の確認～

### (ア) 誓約書のサイン・提出

本資料を全て確認し、参加する場合は誓約書(別紙1)にサインしてください。

→講習会初日の受付時にご提出ください。

### (イ) 重症化するリスクの確認

高齢者、高血圧、心不全、慢性肺疾患、糖尿病、呼吸器疾患(COPD、喘息など)その他、透析を受けている方、免疫抑制剤などを用いている方やガンの化学治療やその類の治療が必要とされる状態にある深刻な基礎疾患を有する方は、「感染した場合重症化するリスクが高い人」とされています。該当する受講者の方は慎重に参加を検討してください。該当する方が受講される場合には、感染した場合に重症化するリスクと、その一切の責任については受講者本人のものであることを承知の上、誓約書に記載をお願いいたします。以下に「感染した場合重症化するリスクが高い人」の項目を示します。

なお、詳細については、参考URLをご確認ください。

●高齢者 65歳以上の人のこと

●基礎疾患のある方

慢性閉塞性肺疾患(COPD)、慢性腎臓病、糖尿病、心血管疾患

●高血圧・・・診察室での収縮期血圧(最大血圧)が140mmHg以上、拡張期血圧(最小血圧)が90mmHg以上の場合を高血圧と診断します。

参考:厚生労働省ホームページ

[http://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/metabolic/m-05-](http://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/metabolic/m-05-003.html)

[003.html](http://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/metabolic/m-05-003.html)

●肥満

「脂肪組織に脂肪が過剰に蓄積した状態で、体格指数(BMI)25以上のもの」が肥満と定義されています。(厚生労働省 e-healthnet 参照)

【参照】(新型コロナウイルス感染症の“いま”についての10の知識 2020年10月)

## ② 事前の対策 ～参加意思の確認後の対策～

### (ウ)コンディションの記録

講習会が開催される2週間前から「体温・行動記録用紙」(別紙2)に健康状態を記録してください。なお、行動記録については講習会中も記載していただきます

→講習会開催時の朝の受付時にご提出ください。講習初日と2日目は確認終了後に返却いたします。最終日は主催者側で保管し、3カ月後にシュレッダー処分いたします。

### (エ)新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)のダウンロード

COCOA を使用して陽性者との接触の有無の確認を行います。

厚生労働省が開発した、感染者との接触を確認するためのアプリをご自身のスマートフォンにインストールしてください。使用方法やインストールの方法には下記の URL を参考にしてください。

→講習会開催の2週間前から使用を開始してください。

→講習会開催時の朝の受付時にご提示ください。陽性者との接触を確認いたします。

【参考:厚生労働省ホームページ】

(オ)講習会参加前に体調不良・陽性反応・濃厚接触者などになった場合の参加可否判断について

【体調不良になった場合】

ここでいう体調不良者とは、厚生労働省が示している以下のような場合と定義いたします。

1. 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱などの強い症状のいずれかがある場合
2. 重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪症状のある場合
3. 比較的軽い風邪症状が続く

※体調不良者は発症から数えて2日および症状消失後より数えて3日間は活動を休み、自宅療養することを推奨いたします。症状消失後、3日間は自宅療養とする方針があります。感染していた場合でも、ウィルスの排出量が少なくな感染拡大のリスクを下げるができるためです。

※上記の症状が続く場合は自己判断せず医療機関等で診断を受けてください。

※【参加可否判断】

→「講習会開始日(2月8日9:00)の3日前(2月5日9:00)に、症状が消失していること」となります。

【参加予定者が新型コロナウイルス感染症に感染した場合や感染が疑われる場合】

講習会・研修会参加予定者の当日の状態	当該者の参加について
① 陽性反応が確認されているとき	参加は認めない
② 濃厚接触者に特定されているとき	参加は認めない
③ 陽性反応が疑われるとき 【例】 ・PCR検査を受けたが、結果待ちである。 ・PCR検査を受けていないが、以下の項目に該当する。 ア、体調不良(例:発熱, 咳(せき), 咽頭痛(のどの痛み)など風邪の症状がある。 イ、同居家族や身近な知人に感染を疑われる方がいる。 ウ、過去14日以内に、政府から入国制限・入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある。 エ、48時間以内に陽性者との接触がある。	参加は認めない

### ③ 実施中の対策 ～参加意思の確認後の対策～

#### (カ)朝の受付時のチェックの実施

受講者は、講習会当日の朝の受付において、下記の4点のチェックを行います。

- 1)出欠席の確認
- 2)非接触型体温計による検温
- 3)新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)による接触確認
- 4)体温・行動記録シートの提出

※アルコールなどの手指消毒剤を用意する。

※体温が37.5度以上ある場合は、講習会会場(研修室・体育館・アリーナ)への入場をお断りいたします。

➡すみやかに地域の医療施設での受診をお願いいたします。その後の受講の可否や、ホテルでの治療・待機期間などについては、医師の指示に従ってください。

➡ライセンス取得は条件は、前提として、全講習の時間の出席となります。体調不良等で出席できなくなった場合は、欠席した講義や内容に基づき、何らかの課題を課します。

#### (キ)人的感染対策

##### 〈基本的対策〉

- 1) 受講者は、常にマスクを着用し、基本的な衛生エチケットを遵守してください。
- 2) 受講者は講習期間中、「こまめなうがい」や「こまめな手洗い」「アルコール消毒」など手指消毒の実施を行い、「マイタオル」を持参する。
- 3) 可能な限りのソーシャルディスタンス確保を意識して参加する。
- 4) 受講者は、講習中にコーチング実践中に、握手・ハイタッチなどの接触は避ける。
- 5) 会場で食事する場合、身体的距離(できるだけ2m、最低1m)を確保して、対面は避け、会話せずに食事を行い、食事を行うとき以外はマスクを着用してください

##### 〈受講者が実技・コーチング実践を行う際の留意点〉

- 1) 十分な距離の確保
  - ➡周囲の人となるべく距離(2mが目安)を空けること
- 2) 位置取り
  - ➡前後一直線で並ばず、並走あるいは斜め後方に位置取ること
- 3) その他
  - ➡タオルの共有はしないこと マイタオルを持参しましょう
  - ➡飲みきれなかった水・お茶・スポーツドリンクなどは持ち帰ること。
- 4) 「大きな声での会話」「大きな声での説明」などは行わない。

#### (ク)会場の感染対策

##### 〈部屋・アリーナ〉

- 1) 受講者が使用できるように、会場入口に手指消毒液を設置します。
- 2) ドアは常時開放し、ドアノブを触らず入場できるようにします。
- 3) 座席を設置する場合は、前後左右の間隔を十分に取り、正面に座らないように配慮します。
- 4) 喫煙所は指定の場所を使用し、3密にならないように離れて使用してください。

#### 〈手洗い場所・トイレ〉

- 1)手洗い場に石鹼(ポンプ型)を用意する。
- 2)参加者に予め「30秒以上の手洗い」を求める。
- 3)参加者に「マイタオル」の持参を求める。
- 4)アルコール消毒液を設置する。

※便器のふたを閉めて汚物を流すように表示する

#### 〈ゴミの廃棄方法〉

- 1)会場内のゴミ箱(更衣室・トイレ等含む)は使用させない。
- 2)大会運営上で出るゴミの回収・廃棄は主催者が行う。
- 3)ゴミを回収する役員は、マスクや手袋を着用し、作業後に石鹼で手を洗う。

#### 〈会場の換気〉

- 1)窓やドアなどを常時開放する。
- 2)日除けカーテンも開放し空気循環を促す。

#### 〈除菌作業〉

- 1)講習会の合間に講習会で使用した器具の除菌作業を行う。(担当:役員)
- 2)講習会終了後に、体育館や更衣室、荷物置き場などの入り口のドアノブや扉、使用した椅子や机、トイレや手洗い場の蛇口や洗浄ボタン、照明などのスイッチその他、講習会で使用した器具の除菌作業を行う。(担当:役員)

### ④ 実施後の対策

(ケ)講習会終了後の対策  
新型コロナウイルスの潜伏期間は最長で12.5日といわれています。そのため講習会終了後から12.5日以内に、新型コロナウイルス発症が確認された場合、あるいは、その疑いのため検査を受けることが発覚した場合、早急に千葉県バスケットボール協会指導者養成委員会担当まで報告をお願いいたします。また、講習会終了後12.5日を過ぎるまでは、接触確認アプリ COCOA はご自身のスマートフォンにインストールした状態にしておくようお願いいたします。万が一、検査で陽性反応が出た場合には、アプリからも濃厚接触者へ通知が届くようになっております。

#### (コ)誓約書・健康チェックシートの扱い

受講生の皆さまより提出された「誓約書」・「健康チェックシート」は、最低でも3ヶ月は保管いたします。3ヶ月後に発症者がいない場合には個人情報記載文書扱いとしてシュレッダー処分を行うこととします。

### ⑤ その他

#### (サ)ガイドライン作成について

新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインの作成に当たっては「日本バスケットボール協会」から出されている「JBA主催講習会に関する新型コロナウイルス感染症対策について(2020年12月4日作成)」を参考に作成。

#### (シ)ガイドラインの変更について

このガイドラインの変更に当たっては、移行期間におけるステップごとの緩和の目安、使用や開催の制限などについて政府(スポーツ庁・文部科学省等)、千葉県、開催地区市町村より発出される要請の内容に基づいて変更されることがある。変更された場合は、(一社)千葉県バスケットボール協会指導者養成委員会ホームページを通じて連絡いたします。